

## 5 施策体系(つづき)

### II 地域承継型農業

#### 方針1 農作業のアウトソーシングによる生産性の最適化と持続的農地管理の実践【目的：労力削減】

- 1-i 農作業の委託による労力の効率化
- ①農作業受託事業者の業務受託範囲の拡大
  - ②農作業受託事業者におけるスマート農業機械の導入促進
  - ③農作業受託事業者の経営戦略における人員確保などの進化

#### 方針2 地域密着型産直市における製品の安定供給と出荷者拡大に向けた取り組み【目的：地産地消の推進】

- 2-i 地域製品の安定供給
- ①農産品の安定生産に向けた栽培研修の実施、②安全・安心な規格外製品の販売促進
- 2-ii 出荷者と産直市の協力関係の強化
- ①データ分析を活用した農産物出荷及び販売戦略の調整促進

#### 方針3 農畜産物の地産地消の取組 【目的：収益の向上】

- 3-i 生産農家への地産地消の取り組み推進
- ①地産地消における教育・研修プログラムの実施
  - ②生産者への経済的インセンティブ(補助金など)の強化
- 3-ii 地域産品を積極的に活用する事業所の普及促進
- ①地産地消推進店登録事業を通じた消費者信頼の向上
  - ②持続可能性の確保(SDGs)を促進するためのメッセージング
  - ③学校や社会福祉施設等の大型事業所における地域産品の利用促進

#### 方針4 農業の働き手不足解消に向けた戦略的アプローチ【目的：雇用の創出】

- 4-i 農業従事者及び非農業従事者への新たな雇用機会の創出
- ①農福連携を通じた新たな雇用機会の創出と人材確保

### III 地域密着型成長戦略農業

#### 方針1 生産性の革新と労働効率の向上による持続可能な農業の実現【目的：労働力削減と収益性の向上】

- 1-i 生産効率と品質向上及び作業負担の軽減
- ①鳥獣被害の低減に向けた取り組み

#### 方針2 農作業のアウトソーシングによる生産性の最適化と持続的農地管理の実践 【目的：労力削減】

- 2-i 持続可能な農地管理
- ①地域の農業団体との連携強化による地域資源の最適化

#### 方針3 農業の働き手不足解消に向けた戦略的アプローチ 【目的：雇用の創出】

- 3-i 地域の農学と連携した教育
- ①地元の教育機関との連携による農業教育プログラムの実施
  - ②高齢者から若手への農業技術・知識継承プログラムの実施

#### 方針4 環境に配慮した持続可能な農業の推進 【目的：収益と品質の向上】

- 4-i 有機農業の推進
- ①化学肥料及び化学合成農薬の使用削減と有機農法の導入推進

## 6 主な達成目標(指標)

項目	指標	現状	中間年目標	目標
		令和6(2024)年度	令和11(2029)年度	令和16(2034)年度
基本目標	経営耕地面積	4,412ha	3,750ha	3,529ha
I 戦略型成長農業	1,000万円以上の農産物販売金額の経営体割合	4.7%	8.0%以上	19.0%以上
II 地域承継型農業	一般農家の農業従事に対する満足度の向上 <small>注)5年後毎に実施する農業振興に関するアンケート調査により満足度を調査</small>			

### 第3期庄原市農業振興計画 概要版

発行：庄原市 企画振興部 農業振興課  
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号  
TEL 0824-73-1131 FAX 0824-72-3322



# 第3期 庄原市農業振興計画 概要版

つなぐ力、広げる未来 ～攻めと守りではたす持続可能な農業～

《農業の基盤産業化・農業で里山の価値を未来へ紡ぐ》

令和8(2026)年度～令和17(2035)年度

広島県庄原市

## 1 策定の趣旨

本市では、水田農業を支える集落法人の設立促進や小規模農家の生産意欲向上対策、「比婆牛」や「庄原ブランド米」といったブランド農畜産物の認知度向上等に取り組んできました。

しかし、近年の急激な資材価格の高騰や異常気象による生産性低下、他産業との雇用競合の影響により、新規就農者の受け入れが停滞するなど、農業を取り巻く環境変化によって新たな課題も顕在化してきています。

国においては、令和7(2025)年4月に策定された「食料・農業・農村基本計画」に基づき新たな施策が展開されています。特に、令和9(2027)年度予定の「水田政策の抜本的見直し」など、本市農業に関連する重要施策の動向にも注目が集まっています。

このたび、「第3期庄原市長期総合計画」の策定に合わせ、農業を取り巻く情勢や環境の変化などに対応できるよう、今後の農業振興施策として「第3期庄原市農業振興計画」(以下、「本計画」)を策定しました。

こうした諸情勢の変化、動向を踏まえ、本市の農業の持続的発展を確かなものとするため、これまでの第2期計画を抜本的に見直し、「第3期庄原市農業振興計画」として刷新いたします。

## 2 計画の構成と期間

本計画は、基本事項、基本方針、基本計画で構成します。

### 【基本事項】

計画の趣旨や対象期間、社会・経済的な背景、本市の農業等の現状、第2期計画(平成28(2016)年3月策定)の検証結果(農家等アンケート調査、施策等成果・評価)など、基本的な事項を整理しています。

### 【基本方針】

農業振興の基本方針として、本市の農業のめざす姿を掲げ、その実現に向けた振興テーマ、目標の目安となる振興指標(KGI)とともに、施策体系を整理しています。

### 【基本計画】

基本方針を実現するため、施策体系に従って、取り組みの背景や施策のねらい、目標指標とともに具体的な施策内容を整理しています。

本計画は、令和8(2026)年度から令和17(2035)年度の10年間の計画としています。

### 3 農業振興の課題と施策の展開方向

#### 《 施策課題 》

#### 《 展開の方向 》 ～見直しのポイント～

新たな時代に対応する農業を実現する必要がある

生産性の向上に向けた取り組み新たな流通・販売にチャレンジする経営力が求められる

新たな農業経営を確立する経営主体の育成・確保（経営力・資本力等）が求められる

急速に変化する生産・販売・経営環境を踏まえ、新たな収益源となる生産体制の確立およびそれを担う経営体の育成並びに確保が喫緊の課題である。

併せて、若者が農業を他産業と同様に魅力的な就業先と認識し、意欲的に就業できる環境整備が必要である。

**攻める農業**

経営感覚に優れ、新たな技術の導入、付加価値の高い生産にチャレンジし、実現する企業的な経営体の育成に向けた施策展開が求められる。

「攻め」と「守り」で農業を基盤産業へ

農地の荒廃は、鳥獣被害の増加を招き、農業用施設の荒廃、老朽化を加速させる問題

少量多品目（園芸作物等）の売り先が確保され、出荷環境が整うことで、生産出荷意欲の維持、向上が求められる

水田等の農地、水田農業の作業委託等の体制を確保することが求められる

農家の高齢化が進む中、地域の生産基盤および生産環境を支える小規模農業の維持・補充が重要な課題となっている。

小規模で高齢の農業者であっても体力や所得の状況、意向に応じて意欲的に生産活動に取り組める環境の整備が求められる。

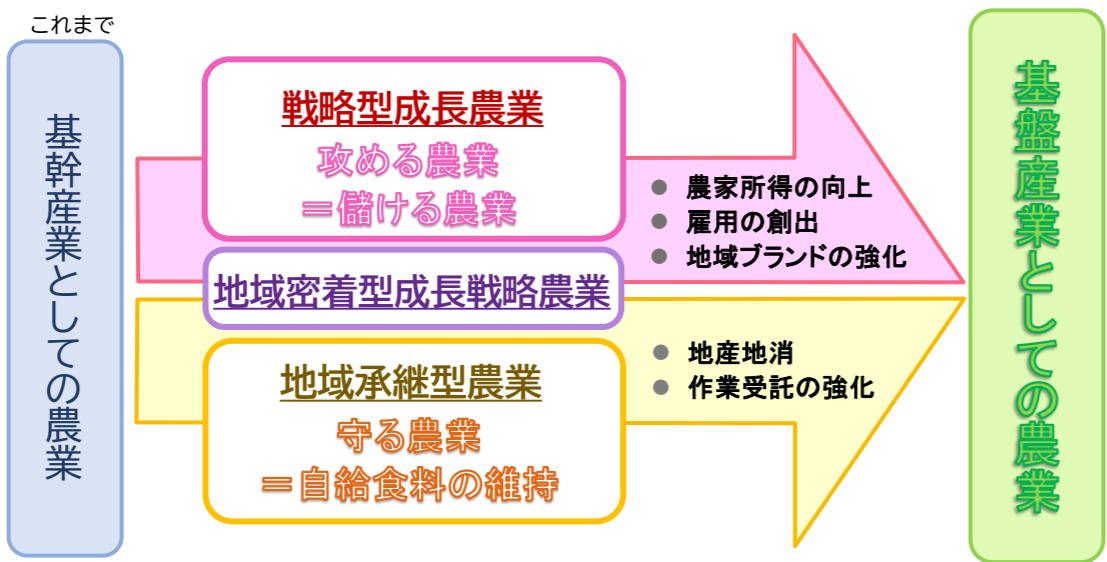
多様な農業者が持続的に農業に従事できるよう、支援体制の強化と施策の推進を図る必要がある。

**守る農業**

小規模農家（水田農業）を支える体制を確保し、地産地消など少量多品目の販路を拡充、強化することで、小規模農業を支え、農村資源、営農環境を良好に保全継承する施策展開が求められる。

### 4 基本方針 ～庄原市農業のめざす姿～

つなぐ力、広げる未来 ～攻めと守りではたす持続可能な農業～  
 ≪ 農業の基盤産業化・農業で里山の価値を未来へ紡ぐ ≫



### 5 施策体系

#### I 戦略型成長農業

<b>方針1 生産性の革新と労働効率の向上による持続可能な農業の実現【目的：労力削減と収益の向上】</b>		
1-i 生産効率と品質の向上	① 高品質な種子及び肥料の選択 ② 農業データ(気温・雨量・圃場の地力等)を活用した施肥・病害虫の予防管理 ③ 自給飼料(飼料用稲・飼料用トウモロコシ)生産力の強化 ④ 飼養環境の改善と飼養管理の最適化	
1-ii 作業負担の軽減	① スマート農業機械等の導入推進、② 農地の集約化と効率的な活用促進	
1-iii 大学等と連携したイノベーションの促進	① 地域特性に応じた農畜産物や自給飼料の開発 ② 低コストで高品質な輸送・保管方法の最適化法の開発 ③ 地域農業ニーズの把握と実証事業の促進	
1-iv 経営の安定化	① 農業経営計画に基づく機械施設導入支援の強化	
<b>方針2 企業の農業ビジネス参入と次世代の農業人材の育成【目的：雇用の創出】</b>		
2-i 農業経営体の経営基盤強化と企業の農業参入促進	① スマート農業分野への投資拡大促進 ② 農業収益モデルの多様化支援(6次産業化) ③ 次世代農業者間のコミュニティ形成の促進 ④ 企業参入による比婆牛素牛一貫肥育体制の構築	
2-ii 農業従事者の育成	① 認定新規就農者の段階的育成 ② 市内教育機関との連携による経営安定化に向けた啓発・教育 ③ スマート農業技術教育の推進	
<b>方針3 高付加価値農畜産物の普及と発展【目的：生産量と品質の向上】</b>		
3-i 高付加価値農畜産物の導入	① 果物の栽培推進、② 野菜の栽培推進、③ 食用花の栽培推進	
3-ii 新たなブランド製品の創出	① 地域資源を活用した新商品(新商品)の開発	
3-iii 既存ブランド製品の強化・拡充	① 庄原ブランド米及び比婆牛の生産規模拡大の推進	
<b>方針4 農畜産物の流通と販売ネットワークの多様化【目的：販売強化】</b>		
4-i 流通プロセスの効率向上	① コールドチェーン(高機能冷蔵設備)対策の強化支援 ② ICTを活用した受発注及びトレーサビリティシステムの導入促進	
4-ii 販売チャネルの拡大	① 定期購買モデル(サブスクリプション)の導入促進 ② SNS及び動画マーケティングの強化促進 ③ 飲食店及び小売店との協力関係の強化	
<b>方針5 観光交流型産直市における販売促進を通じた収益性向上に向けた取り組み【目的：収益の向上】</b>		
5-i 地域連携の強化	① 産直市と生産者の連携深化による商品ラインナップの強化 ② 安全・安心な規格外商品の販売促進	
5-ii 販売方法の多様化	① 直売及びオンライン販売の活用を通じた販路の多様化	
<b>方針6 農業の働き手不足解消に向けた戦略的アプローチ【目的：雇用の創出】</b>		
6-i 農業従事者及び非農業従事者への新たな雇用機会の創出	① 求人アプリ等を利用した農業従事者の特定雇用促進	
<b>方針7 農作業の受託による生産性の最適化と持続的農地管理の実践【目的：労力削減】</b>		
7-i 持続可能な農地管理	① 地域計画を活用した農地集積の促進	

「II 地域承継型農業」、「III 地域密着型成長戦略農業」は裏面